

2 他県訪問中の対応（続き）

<input type="checkbox"/>	面会相手や時間、移動経路、訪問場所など、訪問中の主な行動を記録に残す。
<input type="checkbox"/>	感染リスクが高まる「5つの場面（飲酒を伴う懇親会等、大人数や長時間に及ぶ飲食、マスクなしでの会話、狭い空間での共同生活、居場所の切り替わり）」を意識して行動する。（添付のチラシを確認のこと）
<input type="checkbox"/>	3密対策が取られていない、又は混雑して他人との距離が確保できない店舗（飲食店、小売店など）の利用は控える。（東京都、大阪府などでは感染拡大防止や衛生対策等に取り組む店舗にステッカーが掲示されています。）

3 帰県後の対応

<input type="checkbox"/>	緊急事態宣言対象地域・それ以外の本学が指定する地域から帰県後2週間は健康観察期間とし、その間の対面授業には出席しないこと。（授業は欠席扱いとなります。）
<input type="checkbox"/>	体温を測定するなど健康管理を適切に行い、発熱等の風邪症状が生じた場合には、大学や医療機関等に連絡し、相談・受診すること。 （※大学：089-958-2111） （※受診相談センター：089-909-3483）
<input type="checkbox"/>	帰県後2週間は、不要不急の外出は控えるなど、自身の感染の可能性も踏まえた行動をとること。
<input type="checkbox"/>	帰県後、実習施設の定める期間内は臨地実習に参加しないこと。

（参考：感染リスクを減らすために推奨する行動例）

<ul style="list-style-type: none">・石けんと流水による手洗いやアルコール消毒液による手指消毒をこまめに行う。・人混みを避け、他人との距離は1～2mにするなど、フィジカルディスタンスを保つ。・公共交通機関はラッシュを避け、空いている時間帯を利用する。また、車内などの密閉空間での会話は控える。・会食等については、混雑した店舗の利用は避け、必要最小限の人数、時間で実施し、大皿から取らずに最初に取り分けるなどの配慮を行う。・現金の取り扱いを減らすため、交通系ICカードやキャッシュレス決済を利用する。
